

「斜陽館」入館 170 万人達成

10月1日、太宰治記念館「斜陽館」の入館者数が170万人を達成しました。

170万人目となったのは、新潟県三条市から訪れた高橋充さん、敦子さんご夫妻。

充さんは「本当にびっくり。来て良かった」と笑顔を見せました。また、敦子さんは「いい思い出になりました」と話しました。

お二人には記念品として、同館の伊藤一弘館長から、花束とライトアップされた斜陽館の写真パネルが贈呈されました。



170万人目となった高橋さんご夫妻(真ん中)

祝100歳 総理大臣から祝状

今年度100歳を迎える方に内閣総理大臣からの祝状と記念品、県知事からの顕彰状が贈られ、当市の16名を代表して、山中伊三さん(金木町嘉瀬)宅を10月6日、市長が訪問し、伝達しました。

大正3年生まれの伊三さんは、現在1人暮らしで、食事は肉と野菜中心、甘いものが好きなのだという。

介護保険も使っていないことから、健康で長寿の秘訣を聞くと、伊三さんは「酒、タバコを一切やらないこと」と元気に話しました。

近所に住む娘の矩子さんは、毎日様子を見に来ていそうで、「これからも元気で長生きしてほしい」と、父の100歳を喜んでいました。



祝状を手に喜ぶ伊三さん(右)

ホテル・旅館等の表示制度

消防本部予防課
TEL 35-2020

平成24年5月に広島県福山市で死者7名、負傷者3名を出したホテル火災の教訓を踏まえ、ホテル・旅館等の利用者に対し、防火基準等の適合情報を提供する「表示制度」が平成26年8月から全国的に始まっています。

五所川原地区消防事務組合でも10月1日よりホテル・旅館等に対する表示制度を開始しました。



表示制度とは ホテル・旅館等の関係者からの申請に基づき、消防法令のほか、重要な建築構造に関する基準に適合していると認められた建物に対して表示マークを交付する任意の制度です。

対象となる建物は 3階以上で収容人員が30人以上のホテル・旅館等(複合用途の建物内にホテル・旅館等がある場合を含む)

*対象外の規模の建物についても、申請があり、基準に適合していると認められた場合は、その旨の通知を受けることができます。

申請のあった2つのホテル「パークイン五所川原▶エルムシティ」、「ホテルサンルート五所川原」について、10月1日、表示マークを交付しました。

